

公益財団法人 立石科学技術振興財団
2024年度 事業計画
2024年4月1日 から 2025年3月31日まで

【事業の概要と予算】

1. 助成事業

予算 193,784千円

(前年度予算203,371千円より9,587千円の減額)

(1)研究助成(S) 1件30,000千円以下 予算30,000千円

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、「人間と機械の融和」のあるべき姿を想定または提示し、統合技術およびプロトタイプの開発と機能検証、さらに実証実験を目標とする研究プロジェクトに対し助成する。

(2)研究助成(A) 1件2,500千円以下 予算102,978千円

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究を行う者に対し助成する。

(3)研究助成(B) 1件5,000千円以下 予算11,554千円

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究を行う者に対し助成する。

(4)研究助成(C) 1件500千円／年(1年、2年または3年) 予算18,672千円

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための研究を行う博士後期課程(または相当)の学生に対し助成する。

研究助成費(1)から(4)までの予算計163,204千円

(5)国際交流助成 1件 1,000千円以下 予算15,000千円

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための国際交流(国際会議発表、短期在外研究)を行うものに対し助成する。なお、国際交流助成は、前期と後期の2回に分けて実施する。

(6)国際会議開催助成 1件1,000千円以下 予算10,000千円

エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進するための国際会議の開催に対し助成する。

国際交流助成費(5)(6)の予算計 25,000千円

(7)贈呈式運営費 予算5,580千円

助成開始にあたり、研究助成金受領者に財団趣意や期待を伝え、研究者どうしの課題共有を図る。

2. 顕彰事業(顕彰は偶数年に実施) 予算41,200千円
(2023年度は活動なし 前年度予算0千円より41,200千円の増額)

- (1)立石賞顕彰 1件5,000千円 予算20,000千円
エレクトロニクスおよび情報工学の分野で、人間と機械の調和を促進し、技術革新と人間重視の視点から真に最適な社会環境の実現に寄与した研究者を顕彰する。
- (2)立石賞運営費 予算21,200千円
立石賞授賞者の功績を広く周知するとともに、感謝の意を表す記念式典を実施する。

3. 成果普及事業 予算21,150千円
(前年度予算24,320千円より3,170千円減額)

- (1)成果集発行費 予算4,550千円
助成対象となった研究課題の成果を助成研究成果集【第33号】の発行およびホームページなどを活用し広告する。研究成果を多くの研究者、研究機関と共有することを目的とする。
- (2)成果発表会運営費 予算16,600千円
助成対象となった研究成果の相互研鑽、研究者どうしの交流の場として実施する。

4. 事業運営費 予算45,470千円
(前年度予算32,209千円より13,261千円増額)
助成事業のための運営費

事業費予算合計301,604千円
(前年度予算259,901千円より41,703千円増額)

以上